

通学区域の変更及び指定校変更の取扱いについて

中野区立小中学校再編計画（第 2 次）に基づく、上高田小学校と新井小学校の統合時の通学区域及び指定校変更について、下記のとおり取り扱う。

記

1 通学区域の変更

(1) 変更前

上高田小学校と新井小学校の統合時に、上高田小学校の通学区域の一部を白桜小学校の通学区域へ編入する。

(2) 変更後

統合新校の通学区域は、上高田小学校と新井小学校の通学区域とする。

(3) 変更理由及び通学区域図

別紙 1 のとおり。

2 指定校変更の取扱い

(1) 学校再編に伴う指定校変更の取扱い

学校再編に伴い、在学中に統合することになる学校への入学予定者については、再編後の新たな通学区域や通学距離などを考慮した特例を、また、統合の時点での在校生についても、通学距離などを考慮した特例を設け、教育委員会が指定校変更の承認をすることとしている。

(2) 変更する内容

統合時に白桜小学校へ編入される地域に居住する子どもに対する指定校変更の特例を削除する。

現行は別紙 2 - 1、改正案は別紙 2 - 2 のとおり。

3 今後の予定

平成 29 年 5 ~ 6 月 学校、P T A ・保護者等への周知

中野区立小中学校再編計画に基づく通学区域の変更について

1 児童数の推計

中野区立小中学校再編計画（第2次）（以下「第2次再編計画」という。）において、平成32年度に統合を予定している上高田小学校と新井小学校の統合校及び白桜小学校の児童数を、平成28年度時点において推計したところ別紙図②のとおりとなった。

【平成32年度の推計値の比較】

	①第2次再編計画策定時	②平成28年度の推計値	差 (②-①)
統合校	540人 18学級	485人 15学級	▲55人 ▲3学級
白桜小学校	427人 14学級	628人 20学級	201人 6学級

2 白桜小学校学級数の増加への対応

現在の白桜小学校の普通教室として使用できる教室数は、転用できる教室数を含め17教室であるが、平成28年度時点での推計によると20教室が必要となり、さらに平成33・34年度には、21教室を確保しなくてはならない状況である。

については、白桜小学校の児童数の増加に対応するために、通学区域を変更することを検討したところである。

上高田小学校と新井小学校の統合にあわせて、白桜小学校へ編入することとしている上高田二・三・四丁目の通学区域を、変更をしない場合について推計したところ、別紙図④のとおりとなった。

これによると、平成32年度以降の白桜小学校は、15～17学級程度であり、統合校についても20～21学級と、一定の学級数を確保できるものとなった。

以上から、白桜小学校の学級数増加への対応として、上高田小学校の通学区域である上高田二・三・四丁目は統合校の通学区域とする。

3 今後の予定

平成29年5～6月 学校、PTA・保護者等への周知

①平成24年度第2次再編計画策定時の推計(32年度統合あり、**通学区域変更あり**)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	児童数	学級数												
上高田・新井	221	7	236	8	228	8	220	8						
	431	14	438	13	441	14	437	15	540	18	539	18	530	18
白 桜	279	11	286	11	300	11	304	11	427	14	433	14	420	12

※小学校第1・第2学年は35人で学級編制

※按分等端数処理あり

②平成28年度時点での推計(32年度統合あり、**通学区域変更あり**)

	実数(5月1日)		推 計 値											
	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
上高田・新井	185	6	188	7	191	8	200	8						
	399	13	397	12	401	13	394	13	485	15	489	16	508	17
白 桜	392	14	409	14	440	15	482	16	628	20	676	21	671	21

※小学校第1・第2学年は35人で学級編制

※按分等端数処理あり

③平成24年度の推計と28年度推計との差(28年度推計値－24年度推計値)

	実数(5月1日)		推 計 値											
	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
上高田・新井	-36	-1	-48	-1	-37	0	-20	0						
	-32	-1	-41	-1	-40	-1	-43	-2	-55	-3	-50	-2	-22	-1
白 桜	113	3	123	3	140	4	178	5	201	6	243	7	251	9

※小学校第1・第2学年は35人で学級編制

※按分等端数処理あり

④第2次再編計画による通学区域変更をしない場合の推計

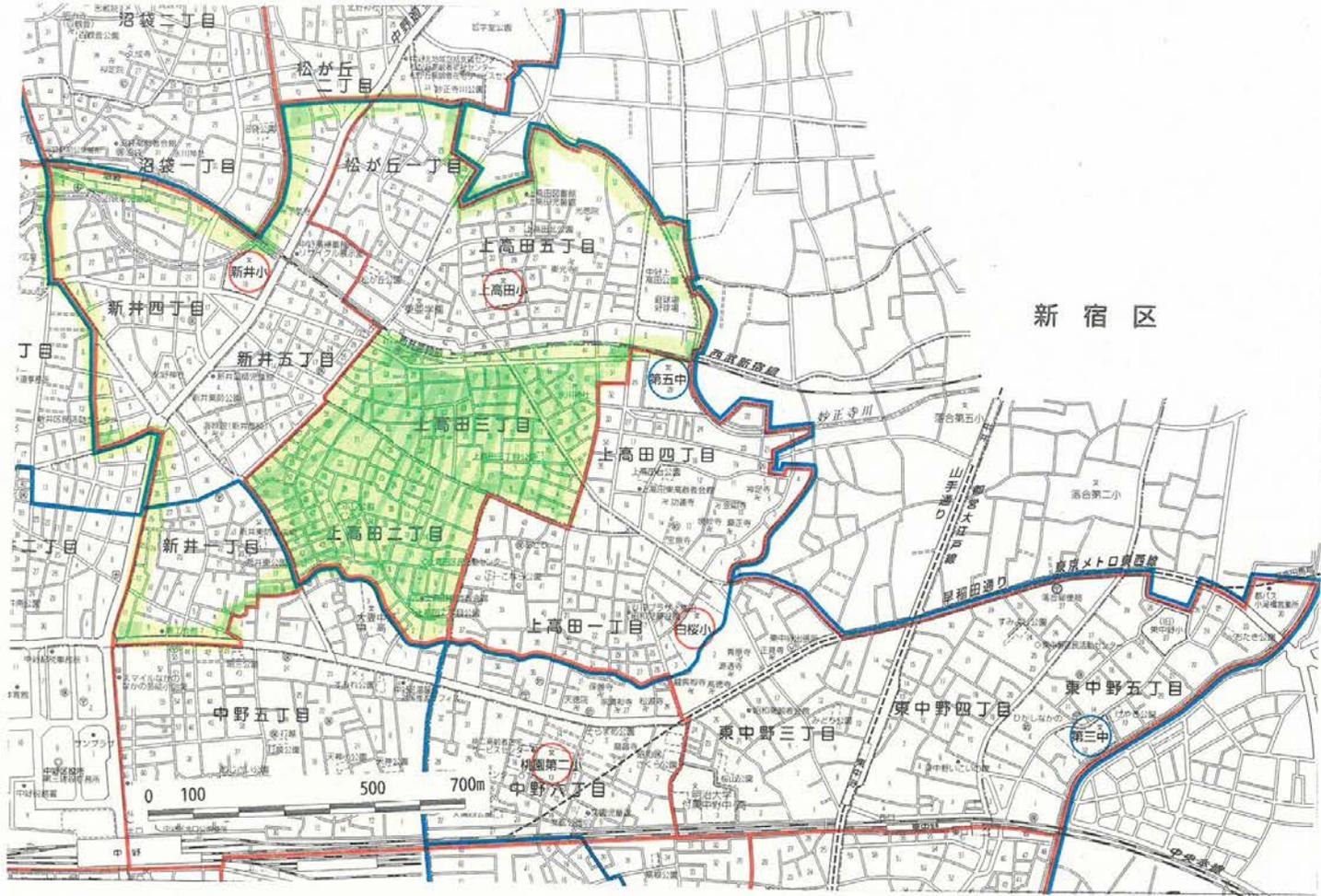
(上高田二・三・四丁目は、統合校の通学区域として推計)

上記②の推計を使用(32年度統合あり、**通学区域変更なし**)

	実数(5月1日)		推 計 値											
	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
上高田・新井	185	6	188	7	191	8	200	8						
	399	13	397	12	401	13	394	13	617	21	629	20	648	20
白 桜	392	14	409	14	440	15	482	16	499	15	535	17	530	16

※小学校第1・第2学年は35人で学級編制

※按分等端数処理あり



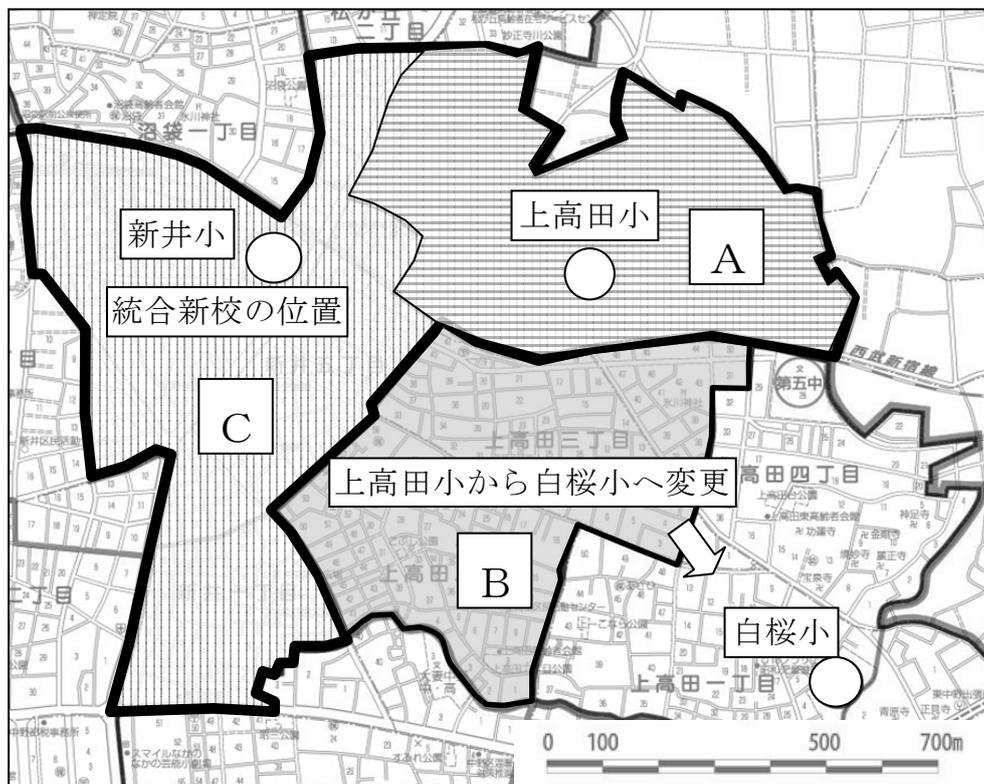
【図】上高田小学校、新井小学校、白桜小学校の通学区域図

上図色塗りの地域（上高田二・三・四丁目）は、第2次再編計画において平成32年度の統合時に上高田小学校から白桜小学校に通学区域変更する地域であるが、白桜小学校学級数増加への対応として、上高田小学校と新井小学校の統合校の通学区域とする。

【現行】

学校再編に伴う指定校変更の取扱い（上高田小、新井小：平成 32 年度統合）

【図】上高田小、新井小の通学区域図



※ Aは上高田小、Cは新井小の通学区域。

新入生の場合（平成 27 年 4 月 1 日から適用）

- ①：図のAの地域に居住する子どもは、新井小への指定校変更を認めます。また、新井小よりも白桜小のほうが距離が近い場合は、指定校変更を認めます。
- ②：図のBの地域に居住する子どもは、白桜小への指定校変更を認めます。また、白桜小よりも新井小など周辺の学校のほうが距離が近い場合は、指定校変更を認めます。
- ③：図のCの地域に居住する子どもは、上高田小への指定校変更を認めます。

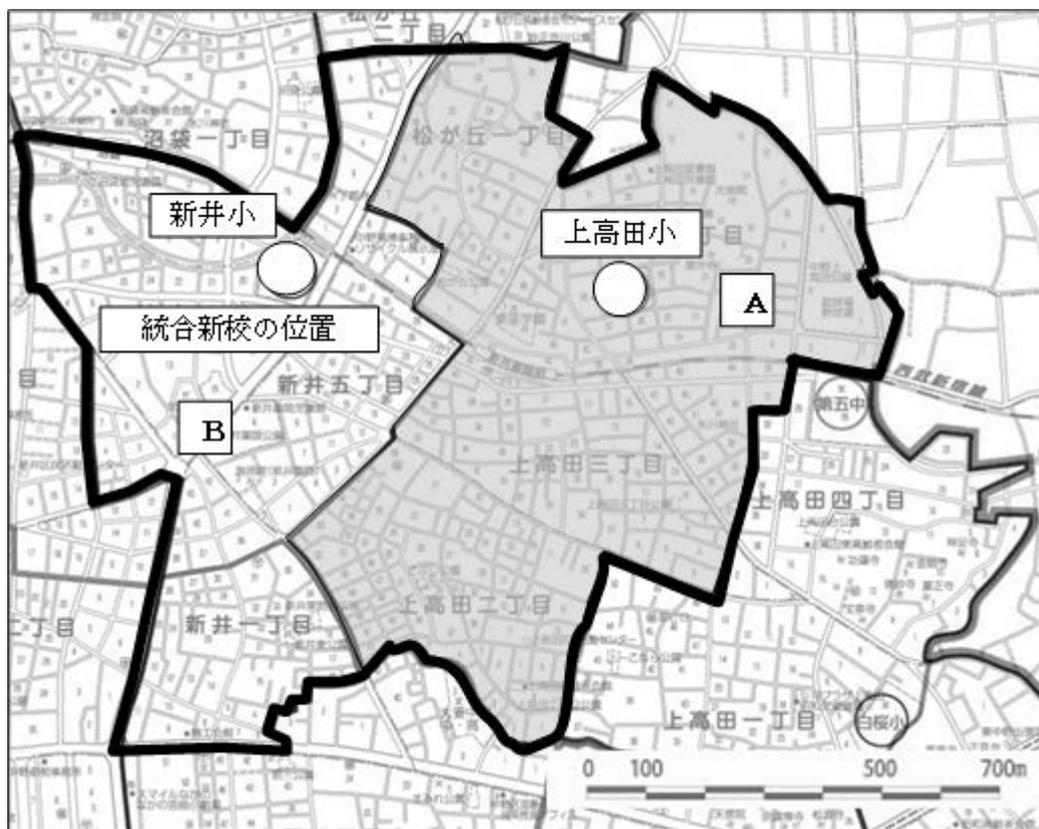
在校生の場合（統合する平成 32 年 4 月 1 日に適用）

- ①：図のAの地域に居住する子どもは、新井小（統合新校の位置）よりも白桜小のほうが距離が近い場合は、指定校変更を認めます。
- ②：図のBの地域に居住する子どもは、<上高田小・新井小>統合新校への指定校変更を認めます。また、白桜小よりも桃園第二小など周辺の学校のほうが距離が近い場合は、指定校変更を認めます。

【改正案】

学校再編に伴う指定校変更の取扱い（上高田小、新井小：平成 32 年度統合）

【図】上高田小、新井小の通学区域図



※ Aは上高田小、Bは新井小の通学区域。

新入生の場合（教育委員会で議決された日から適用）

- ①：図のAの地域に居住する子どもは、新井小への指定校変更を認めます。また、新井小よりも白桜小など周辺の学校のほうが距離が近い場合は、指定校変更を認めます。
- ②：図のBの地域に居住する子どもは、上高田小への指定校変更を認めます。

在校生の場合（統合する平成 32 年 4 月 1 日に適用）

- ①：図のAの地域に居住する子どもは、新井小（統合新校の位置）よりも白桜小など周辺の学校のほうが距離が近い場合は、指定校変更を認めます。